

# **JET 680/680W**

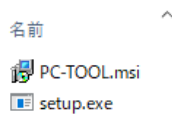
## **PCツール取扱説明書**

## 目 次

1	はじめに.....	- 3 -
2	動作環境.....	- 3 -
3	概要.....	- 4 -
4	インストールについて .....	- 5 -
4.1	アンインストール .....	- 7 -
4.2	インストール時の注意点.....	- 8 -
5	バーコードリーダーについての注意事項 .....	- 8 -
6	動作説明.....	- 9 -
6.1	基本フォルダについて .....	- 9 -
6.2	データメンテナンス手順 .....	- 11 -
6.2.1	通信機能を使用する場合（JET 680Wのみ） .....	- 11 -
6.2.2	SDカードを用いた場合 .....	- 13 -
6.3	レポート参照手順 .....	- 15 -
6.3.1	通信機能を使用する場合（JET 680Wのみ） .....	- 15 -
6.3.2	SDカードを用いた場合 .....	- 16 -
7	画面詳細説明.....	- 18 -
7.1	オープニング画面 .....	- 18 -
7.2	選択画面.....	- 19 -
7.3	部門設定画面 .....	- 22 -
7.4	PLU 設定画面.....	- 26 -
7.5	担当者設定画面.....	- 29 -
7.6	その他設定画面.....	- 31 -
7.7	[ダンプ]ボタンについて.....	- 41 -
7.8	[取り込み]ボタンについて .....	- 41 -
7.8.1	取り込み処理に必要なファイルの形式について.....	- 41 -
7.8.2	[ダンプ]ボタンで作成したファイルをエクセルを使用してメンテナンスして取り込みを行う場合の注意点 .....	- 42 -
7.8.3	エクセルで CSV を作成する場合の注意点 .....	- 45 -
7.9	入力グリッドについて .....	- 47 -
7.9.1	HELP 表示 .....	- 47 -
7.9.2	選択範囲一括入力 .....	- 48 -
7.10	レポートプレビュー画面.....	- 50 -
7.11	ロゴ画面.....	- 55 -
7.12	グラフィックデータの作成 .....	- 58 -

## 1 はじめに

本ソフトはキャッシュレジスターのプログラムデータ修正、ロゴの作成、レポートデータの閲覧を PC 上で行うことを目的とするソフトウェアです。  
弊社ホームページ(<https://clover-electronics.com>)よりダウンロードしてご使用ください。



**※SD カードをご使用の場合、別紙の「PC ツールでの設定方法手順」を必ず行ってください。**

## 2 動作環境

サポート OS

- ・ 32bit

Microsoft Windows 7/Microsoft Windows 8/Microsoft Windows 8.1/Microsoft Windows 10

- ・ 64bit

Microsoft Windows 7/Microsoft Windows 8/Microsoft Windows 8.1/Microsoft Windows 10

※Windows10は2015/7/29 リリースのバージョン10.0(ビルド10240)で動作確認

※デスクトップエディションのみサポートします。

WindowsRT (ARM), Mobile, Core は未対応です。

※以下はサポートしません。

XP モード, タブレットモード, 仮想デスクトップ

32 ビットデスクトップアプリケーション(クラシック Windows アプリ)です。  
Windows ストアアプリ (Modern UI) や UWP(Universal Windows Platform) アプリではありません。

64bitOS 上での PC-T00L 動作

PC-T00L のソフトウェアは 32bit アプリケーションとなります。

64bitOS 上で使用する場合は WOW64 (Windows 32-bit On Windows 64bit) にて動作します。

(WOW64 とは 64bitOS で 32bit のプログラムを動かす仕組み (エミュレーション機能) です)

※Windows は Microsoft Corporation の登録商標です

### 3 概要

本ソフトは大きく分類し 3 つの構成に分類されます。

➤ データ通信機能

SD カードを使用してキャッシュレジスターとのデータ受け渡しを行います。  
また、Wi-Fi 搭載モデル (JET 680W) では、無線通信によるデータの送受信が可能です。

➤ 設定データプログラムメンテナンス

部門、PLU、担当者、ロゴ等の設定データ修正を行います。

➤ レポートプレビュー

部門別売上レポート、PLU 別売上レポート、ジャーナル等のレポートデータを画面に表示します。

## 4 インストールについて

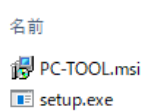
インストールは管理者権限のアカウントで行ってください。

また、インストール後の PC-T00L 使用も同様に管理者権限のアカウントで行ってください。

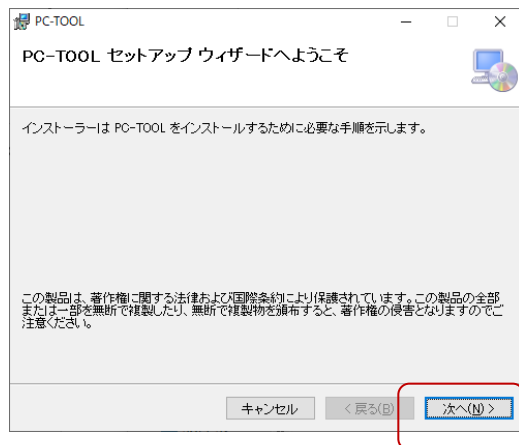
※インストール環境には以下ランタイムファイルが含まれています。

mschrt20.ocx バージョン : 6.0.88.4

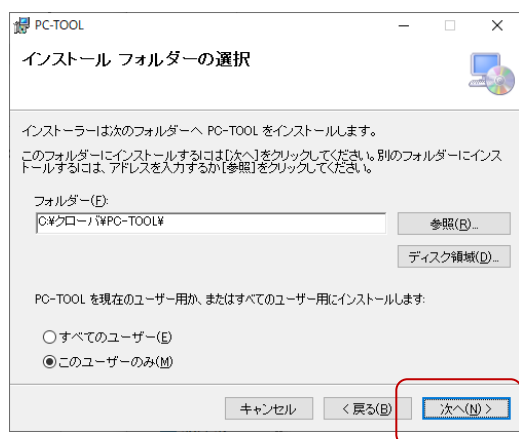
ダウンロードしたフォルダに格納されている setup をクリックすると PC-T00L のセットアップが開始されます。



インストールする前に以前の PC-T00L がインストールされていたらアンインストールを行ってからインストールして下さい。  
(アンインストール手順は 4-1 にあります。)



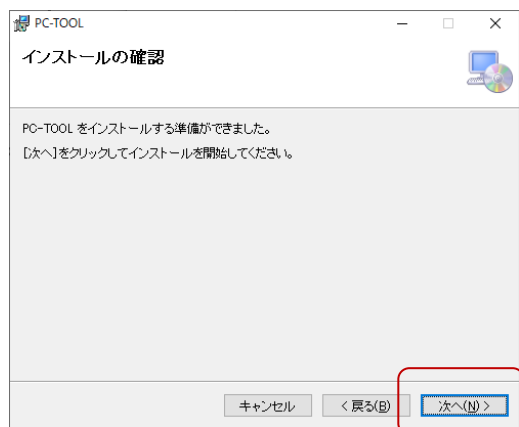
[次へ]を押します。



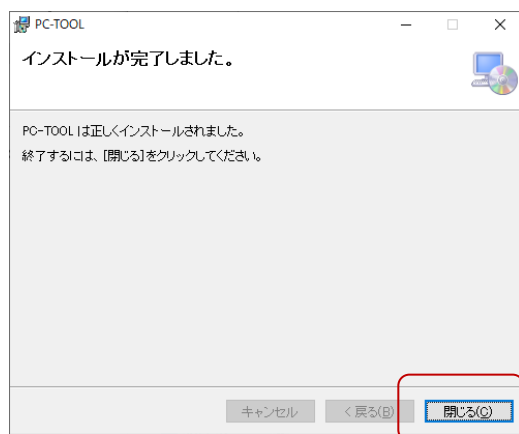
フォルダを変更される場合は任意のフォルダに変更してください。

※インストール先については 4-2. インストール時の注意点を参照下さい。

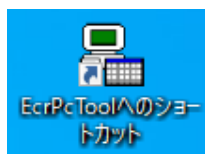
インストール PC の全てのユーザーで PCTool を使用する場合は[すべてのユーザー]にチェックしなおして[次へ]を押します。



[次へ]を押し、インストールを開始します。



正常にインストールが完了すると左の画面が表示され、[閉じる]を押下するとデスクトップ上に EcrPctool へのショートカットが作成されます。



デスクトップ上の「EcrPcTool へのショートカット」をダブルクリックすると、オープニング画面が表示されます。

## 4.1 アンインストール

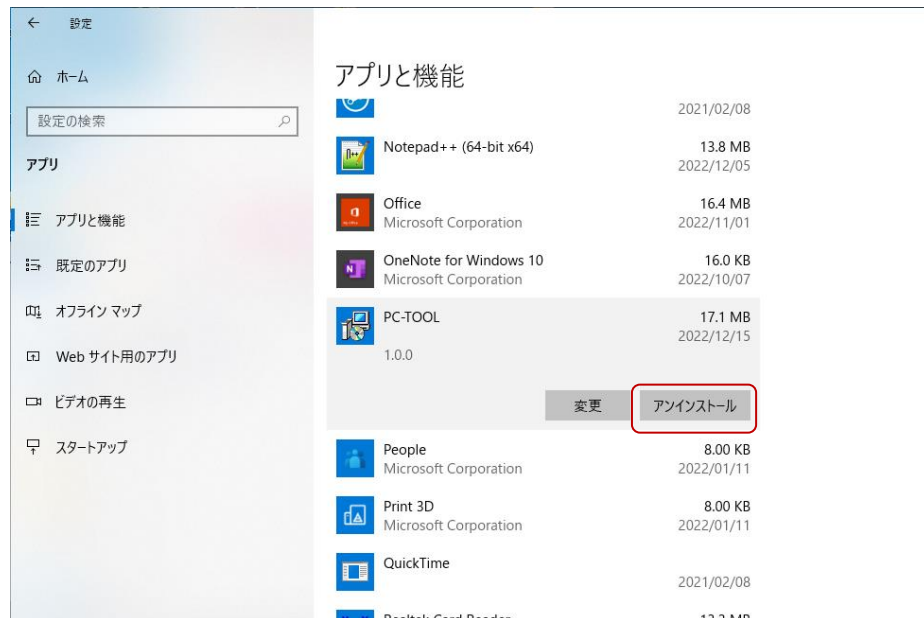
アンインストールは管理者権限のアカウントで行ってください。

PCTool のアンインストールは [設定] を選択して [アプリ] をクリックします。

(以下は Windows10 の画面です。)



一覧から”PC-T00L”を選択し、アンインストールを行います。



## 4.2 インストール時の注意点

インストール時に注意すべきことがあります。

これらの OS では UAC (User Account Control) 機能が存在し、C:\Program Files フォルダ以下への書き込みがリダイレクトされます。

(リダイレクト先の例 : C:\ユーザー¥[username]\¥AppData\¥Local\¥VirtualStore  
¥Program Files¥クローバ¥PC-T00L¥PcTool.ini)

リダイレクトされるとアンインストール時に設定ファイル (PcTool.ini) が削除されません。

インストール時のインストール先を「C:\Program Files」や「C:\Windows」以下には指定しないようお願いいたします。

また、データの格納対象フォルダについても同様に「C:\Program Files」や「C:\Windows」以下には保存しないようお願いいたします。

なお、インストール時にフォルダを変更されなかった場合は特に問題ございません。

## 5 バーコードリーダーについての注意事項

PLU 番号の入力などでバーコードリーダーを使用する場合の注意事項となります。

バーコードリーダー自体の設定は各バーコードリーダーにより異なりますのでお手持ちのバーコードリーダーの説明書を確認して下さい。




## 6 動作説明

各画面の説明の前に構成と動作について詳しく説明します。

### 6.1 基本フォルダについて

本ソフトはまずデータの格納対象フォルダを設定することから始まります。  
この設定したフォルダが作業フォルダとなります。この設定はオープニング画面の次にある選択画面の中にあります。

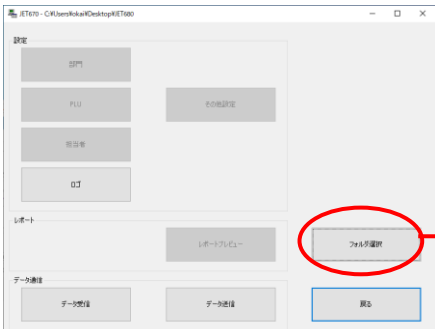
#### 〈オープニング〉



①機種を選択します。

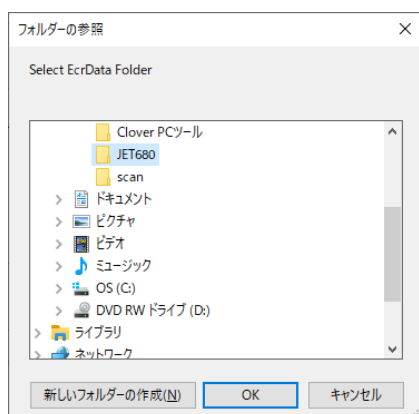
**<JET 680Wのみ>**  
[レジスタ IPアドレス]を入力  
※キャッシュレジスタ IPアドレスの確認は以下で行ってください。  
設定モード  
19. 設定内容確認を選択し、  
23 (Wi-Fi 接続) を選択します。

#### 〈選択画面〉



②[選択]ボタンを押し、選択画面に進みます。

[フォルダ選択]ボタンを押します。



任意のフォルダを選択すると、画面左上に選択したフォルダが常に表示されます。



再度フォルダ変更を行わない限り、このフォルダがデータの格納先、レポート表示元フォルダとして扱われます。

**(注意：SD カードを直接参照した場合、キャッシュレジスターが作成するフォルダの構成上データメンテナンスとレポート閲覧は同時には行えません。)**

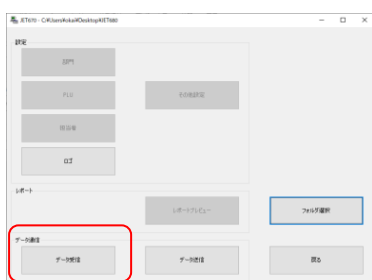
## 6.2 データメンテナンス手順

### 6.2.1 通信機能を使用する場合（JET 680Wのみ）

ここでは基本的なデータのメンテナンス手順を説明します。（先に説明した「6.1 基本フォルダについて」の設定は完了しておく必要があります）

※レジスターと Wi-Fi が接続されているか確認をしてから行ってください。

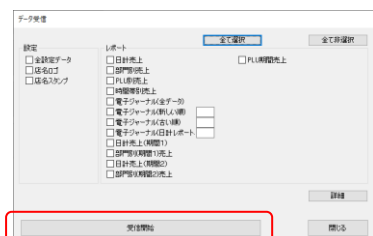
#### <選択画面>



[データ受信]を選択し、キャッシュレジスターからデータを受信します。



#### <データ受信>

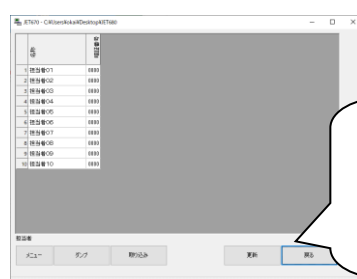
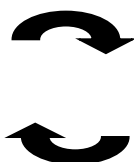


受信したいデータにチェックをして[受信開始]を押します。

完了後、[閉じる]を押し、選択画面に戻ります。



#### <選択画面>



[更新]

各データメンテナンス画面にてデータを修正しキャッシュレジスター送信前にデータを[更新]を押して保存します。



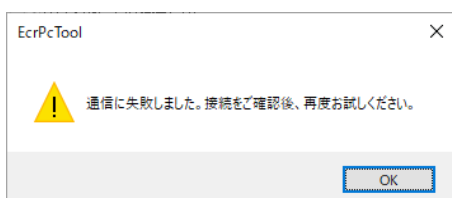
## <データ送信>



<選択画面>から[データ送信]を選択し送信するデータをチェックして[送信開始]を押します。

以上が通信機能を使用した場合のデータメンテナンスの手順です。

## ※データ送受信中にエラーが発生した場合



エラーメッセージが表示されますので、送受信完了後に接続を確認し、再度データ送受信を行ってください。

### 6.2.2 S Dカードを用いた場合

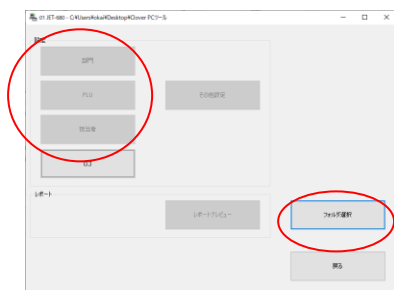
S Dカードを用いたデータのメンテナンスの手順を説明します。

お使いのキャッシュレジスターで事前に設定データをS Dカードに保存してください。

詳細はキャッシュレジスター付属の取説をご参照ください。

このS DカードをPCに接続します。一般のPCではS Dカードリーダーライターユニットなどが別途必要となります。ご購入いただきご準備ください。

#### <選択画面>

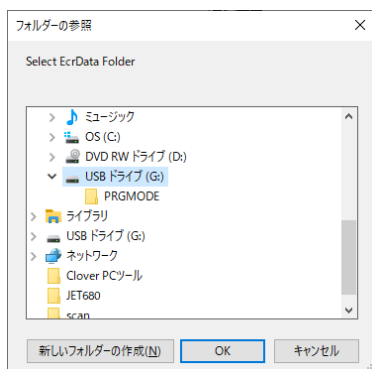


この状態ではメンテナンス用ボタンは認識されていません。

「フォルダ選択」ボタンを押します。



#### <フォルダの参照>

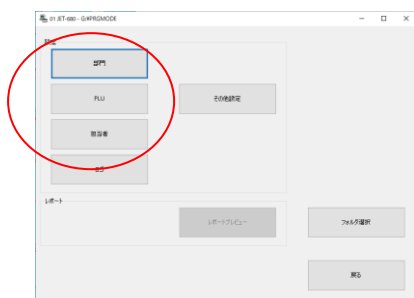


左のフォルダ参照画面が表示されます。

「PRGMODE」を選択し、「OK」ボタンを押します。



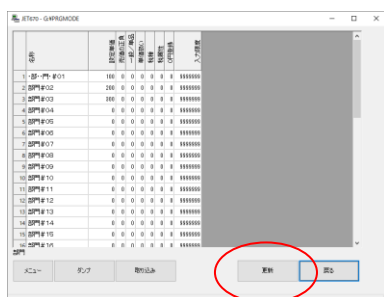
### <選択画面>



認識されていなかったメンテナンスボタンが濃く表示され、認識されたことを示します。

メンテナンスしたい項目をクリックしてください。データが表示されます。

### <データ画面>



この後は対象のデータをメンテナンスしてください。

更新を行えばそのままSDカード上のデータに反映されます。

SDカードをPCから抜きキャッシュレジスターに戻し、SDカードから読込の操作をすることでキャッシュレジスターのデータが更新されます。(取説をご参照ください。)  
注) SDカードの抜き取りは、お使いのSDカードリーダー/ライターユニットなどの取扱説明書に従ってください。

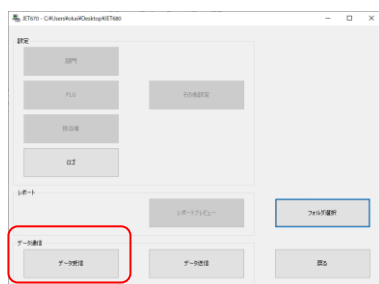
## 6.3 レポート参照手順

### 6.3.1 通信機能を使用する場合（JET 680Wのみ）

通信機能を用いた（売上）レポートの参照について説明します。

まず、「6.1 基本フォルダについて」の設定を行います。

#### <選択画面>



[データ受信]を選択し、キャッシュレジスターからデータを受信します。



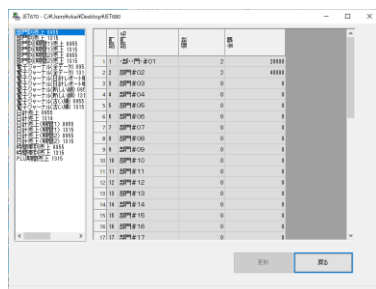
#### <受信>



参照したいレポートにチェックをして[受信開始]を押します。完了後、[閉じる]を押し選択画面に戻ります。



#### <レポートプレビュー>



<選択画面>から[レポートプレビュー]を選択すると基本フォルダにあるレポートの閲覧が行えます。

### 6.3.2 S Dカードを用いた場合

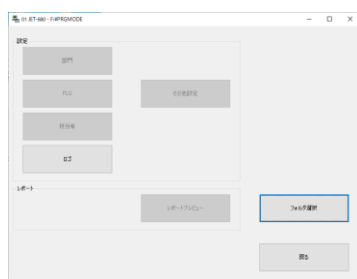
S Dカードを用いた（売上）レポートの参照について説明します。

精算レポートの出力先をSDカードにも設定し、各レポートを精算した場合にSDカードへレポートが出力されます。

詳細はキャッシュレジスター付属の取説をご参照ください。

このSDカードをPCに接続します。一般のPCではSDカードリーダーライターユニットなどが別途必要となります。ご購入いただきご準備ください。

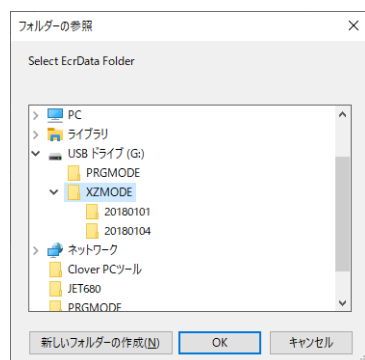
#### <選択画面>



データメンテナンスでの説明と同じようにこの段階ではレポートプレビューボタンが認識されません。



#### <フォルダの参照>



「フォルダ選択」ボタンを押し、認識されているSDカードのドライブから「XZMODE」を選択してください。そのフォルダにはさらにキャッシュレジスターでセーブした精算レポートのデータが格納されているフォルダがあります。

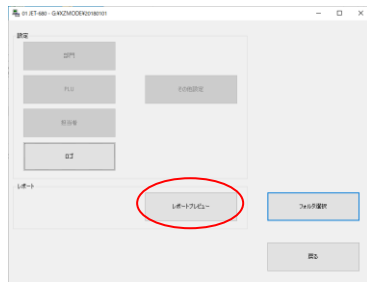
「20180101」のようにキャッシュレジスターでセーブした日付情報がフォルダ名として作成されているはずです。

指定のフォルダを指定し「OK」ボタンをクリックしてください。





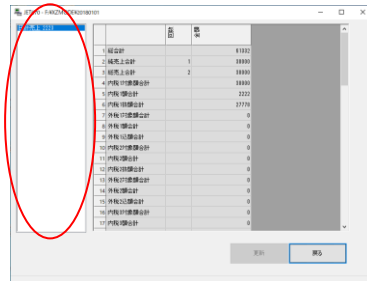
＜選択画面＞



レポートプレビューボタンが認識されます。  
表示されたレポートプレビューボタンを選択します。



## <レポートレビュー>



左枠のタイトルをクリックすると、各種レポートのプレビューが可能です。

## 7 画面詳細説明

各画面の各入力項目についての説明と項目に必要な設定について説明します。

### 7.1 オープニング画面

データの修正、レポートの閲覧を行いたい機種を選択する画面です。

01 JET-680 - G:¥XZMODE¥20180101

**JET** PCTool Ver11.0.0.0

02 JET-680W 1

JPN 2

レジスター IPアドレス 3  
192 . 168 . 1 . 189

選択(S) 4

	項目名	説明	備考
1	機種選択コンボボックス	対象となる機種を選択します。	
2	言語選択コンボボックス	言語を選択します。	
3※	レジスター IPアドレス	キャッシュレジスターの IPアドレスを入力します。	6.1 基本フォルダについて
4	選択ボタン	選択機種を確定し各種機能の画面に移行します。	

※ JET 680Wのみ

## 7.2 選択画面

各設定画面へ移行するための画面です。



	項目名	説明	備考
1	部門設定ボタン	部門の設定画面に移行します。	
2	PLU 設定ボタン	PLU の設定画面に移行します。	
3	担当者設定ボタン	担当者の設定画面に移行します。	
4	ロゴ設定ボタン	レシート、領収書に印刷する 挿絵の設定画面に移行します	
5	その他設定ボタン	支払種別等の詳細データの 設定画面に移行します	
6	レポートプレビュー ボタン	レポートの閲覧画面に移行します	6.3 レポート参照 手順
7	フォルダ選択ボタン	基本フォルダの選択画面を表示 します	6.1 基本フォルダに ついて
8※	データ受信ボタン	データ受信画面を表示します。	
9※	データ送信ボタン	データ送信画面を表示します。	
10	戻るボタン	オープニング画面に戻ります。	

※ J E T 6 8 0 Wのみ

基本フォルダ上に対象ファイルが存在しない場合、そのボタンは押せない状態になります。

表 1 ボタンと対象ファイル一覧

ボタン	対象ファイル
部門	PROGRAM. ECR
PLU	PROGRAM. ECR
担当者	PROGRAM. ECR
ロゴ	店名ロゴ : GRP_HEAD. ECR
	店名スタンプ : GRP_FOOT. ECR
その他	PROGRAM. ECR
レポートプレビュー	日計売上 FIN_?????. CSV
	部門別売上 DPT_?????. CSV
	P L U 別売上 PLU_?????. CSV
	時間帯別売上 HOUR?????. CSV
	電子ジャーナル（全データ） EJ_A?????. CSV
	電子ジャーナル（新しい順） EJ_L?????. CSV
	電子ジャーナル（古い順） EJ_O?????. CSV
	電子ジャーナル（日計レポート単位） EJ_D?????. CSV
	日計売上（期間 1） F_1_?????. CSV
	部門別（期間 1）売上 D_1_?????. CSV
	日計売上（期間 2） F_2_?????. CSV
	部門別（期間 2）売上 D_2_?????. CSV
	P L U 別（期間）売上 P_1_?????. CSV
	????は時間（HHMM）が入ります

**※注意**

レポートおよびロゴ以外の項目は全て **PROGRAM. ECR** に保存されます。このことから部門、PLU、担当者、その他設定画面の[更新]ボタンは押した時点で表示されているその画面のデータのみが更新されるのではなく、**部門、PLU、担当者、その他設定関わる全データが更新されます。**

## 7.3 部門設定画面

部門の設定を行う画面です。

	品名	設定単価	売価の正負	一般/単品	単価扱い	税種	税属性	円登録	入力限度
1	果物	0	0	0	0	0	0	0	9999999
2	野菜	0	0	0	0	0	1	0	9999999
3	文房具	0	0	0	0	1	0	0	9999999
4	部門#04	0	0	0	0	1	1	0	9999999
5	部門#05	0	0	0	0	0	2	0	9999999
6	部門#06	0	0	0	0	0	0	0	9999999
7	部門#07	0	0	0	0	0	0	0	9999999
8	部門#08	0	0	0	0	0	0	0	9999999
9	部門#09	0	0	0	0	0	0	0	9999999
10	部門#10	0	0	0	0	0	0	0	9999999
11	部門#11	0	0	0	0	0	0	0	9999999
12	部門#12	0	0	0	0	0	0	0	9999999
13	部門#13	0	0	0	0	0	0	0	9999999
14	部門#14	0	0	0	0	0	0	0	9999999
15	部門#15	0	0	0	0	0	0	0	9999999
16	部門#16	0	0	0	0	0	0	0	9999999

部門

メニュー    ダンプ    取り込み    更新    戻る

2                      3                      4                      5                      6

	項目名	説明	備考
1	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	7.9 を参照
2	メニューボタン	設定項目の切り替えを行います。	
3	ダンプボタン	設定データを CSV 形式で保存します。	7.7 を参照
4	取り込みボタン	保存データを入力グリッドに取り込みます	7.8 を参照
5	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
6	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

部門設定で入力できる内容は以下の項目です。

内容の詳細は取説の「部門設定」をご参照ください。

<<部門設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 16 文字	–	–	
設定単価	数値 7 桁	0	9999999	
売価の正負	数値 1 桁	0	1	0: 正売価 1: 負売価
一般／単品	数値 1 桁	0	1	0: 一般 1: 単品
単価扱い	数値 1 桁	0	2	0: オープン&設定 1: オープンのみ 2: 設定のみ
税種	数値 1 桁	0	3	0: 税 1 1: 税 2 2: 税 3 3: 税 4
税属性	数値 1 桁	0	2	0: 内税 1: 外税 2: 非課税
0 円登録	数値 1 桁	0	1	0: 可能 1: 禁止
入力限度	数値 7 桁	0	9999999	0 は禁止 9999999 は制限なし

### キャッシュレジスター側での倍角表示について

キャッシュレジスターで表示もしくは印刷を倍角文字にしたい場合は[F5]キーを押して倍角指定特殊文字を挿入します。

➤ 半角を倍角にする場合

Ex) ” PLU01 ” を倍角にする。

[F5]P[F5]L[F5]U[F5]0[F5]1 と文字の前に[F5]キーを入力します。

PC-T00L での表示上は ” ・P・L・U・0・1 ” と

F5 キーを押した部分に ・ が表示されます。

**※ 日本語全角入力で P L U O 1 と入力した場合とキャッシュレジスターでの表示は同じですので、半角文字を全角にする場合、特に倍角指定特殊文字を使う必要はありません。**

➤ 全角を倍角にする場合

Ex) ” 部門 O 1 ” の部門を倍角にする。

[F5]部[F5][F5]門[F5] O 1 と、全角文字を[F5]キーで囲みます。

PC-T00L での表示上は ” ・部・門・ O 1 ” と

F5 キーを押した部分に ・ が表示され、キャッシュレジスターでは横倍角で表示されます。

**注意:** 囲まなかった場合、( “・部” 、 ” 部・” ) は文字化けする可能性があります。



- 入力グリッド左端の数字エリアでダブルクリックをすると詳細画面が出ます。

データ表示

Page 1

名称

設定単価  1

売価の正負 ☒ 正売価 ☐ 負売価

一般／単品 ☒ 一般 ☐ 単品

単価扱い ☒ オープン&設定 2 ☐ オープンのみ ☐ 設定のみ

税種

税属性 ☒ 内税 ☐ 外税 ☐ 非課税

0円登録 ☒ 可能 ☐ 禁止

入力限度  1

← 3 データ番号  4 → 3 閉じる 5

	項目名	説明	備考
1	値入力	各入力を行うエリアです。	
2	選択エリア	設定したい項目を選択します。	※参照
3	データ番号切り替え ボタン	データ番号の切り替えを行います。	
4	データ番号選択 エリア	データ番号を選択します。	
5	閉じるボタン	画面を閉じます。	

※選択エリア右端の数値エリアは、選択により変更されます。数値入力は不可。

## 7.4 PLU 設定画面

PLU の設定を行う画面です。

	PLU #	名称	価格	リンク
1	0000000000000001	りんご	120	1
2	0000000000000002	みかん	100	1
3	0000000000000003	すいか	2000	1
4	0000000000000004	もも	1000	1
5	0000000000000005	ぶどう	200	1
6	0000000000000006	トマト	150	2
7	0000000000000007	きゅうり	100	2
8	0000000000000009	かぼちゃ	130	2
9	0000000000000010	キャベツ	150	2
10	0000000000000011	じゃがいも	100	2
11	0000000000000012	玉ねぎ	130	2
12	0000000000000013	鉛筆	50	3
13	0000000000000014	ノート	130	3
14	0000000000000015	ボールペン	200	3
15	0000000000000016	シャープペン	150	3
16	0000000000000017	消しゴム	30	3

PLU

メニュー    ダンプ    取り込み    ソート    更新    戻る

2            3            4            5            6            7

**注意：** 未精算の売上データがある場合、PC-T00L を使用して PLU データを変更すると、データ送信時にエラーが発生します。

必ず PLU 別、PLU 別(期間)の精算処理を行い、未精算のデータが無い状態で行ってください。

	項目名	説明	備考
1	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	7.9 を参照
2	メニューボタン	設定項目の切り替えを行います。	
3	ダンプボタン	設定データを CSV 形式で保存します。	7.7 を参照
4	取り込みボタン	保存データを入力グリッドに取り込みます	7.8 を参照
5	ソートボタン	PLU コードを昇順にソートします。	PLU 設定のみ表示されます
6	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	※
7	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

※ PLU コードが昇順に並んでいることが前提です。

更新前に PLU コードを[ソート]を使用して並べ替えて下さい。

※ **PLU コードが重複していると更新時にエラーとなります。**

PLU 設定で入力できる内容は以下の項目です。

内容の詳細は取説の「PLU 設定」をご参照ください。

<<PLU 設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
PLU#	数値 14 桁	0	99999999999999	0 は未登録データとなります。 入力グリッドの上の「PLU#」をダブルクリックすると番号の検索が行えます。
名称	半角 24 文字	–	–	
設定単価	数値 7 桁	0	9999999	
リンク部門#	数値 2 桁	1	40	

入力グリッド左端の数字エリアでダブルクリックをすると詳細画面が出ます

データ表示

Page 1

PLU# 00000000000001 1

名称 PLU#00000000000002 1

設定単価 222 1

リンク部門# 部門#02 2 2

2

3 データ番号 4 3 5 閉じる

	項目名	説明	備考
1	値入力	各入力を行うエリアです。	
2	選択エリア	設定したい項目を選択します。	※参照
3	データ番号切り替え ボタン	データ番号の切り替えを行います。	
4	データ番号選択 エリア	データ番号を選択します。	
5	閉じるボタン	画面を閉じます。	

※選択エリア右端の数値エリアは、選択により変更されます。数値入力は不可。

## 7.5 担当者設定画面

担当者の設定を行う画面です。

	担当者	担当者ID
1	担当者01	1111
2	担当者02	0000
3	担当者03	0000
4	担当者04	0000
5	担当者05	0000
6	担当者06	0000
7	担当者07	0000
8	担当者08	0000
9	担当者09	0000
10	担当者10	0000

担当者

メニュー    ダンプ    取り込み    更新    戻る

2                      3                      4                      5                      6

	項目名	説明	備考
1	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	7.9 を参照
2	メニューボタン	設定項目の切り替えを行います。	
3	ダンプボタン	設定データを CSV 形式で保存します。	7.7 を参照
4	取り込みボタン	保存データを入力グリッドに取り込みます	7.8 を参照
5	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
6	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

担当者設定で入力できる内容は以下の項目です。  
 内容の詳細は取説の「担当者設定」をご参照ください。

<<担当者設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 16 文字	–	–	
暗証番号	数値 4 桁	0000	9999	0000 は未設定と同様

入力グリッド左端の数字エリアでダブルクリックをすると詳細画面が出ます。

データ表示

Page 1

名称	担当者01	1
暗証番号	0000	1

 2
 データ番号  3
  2
  4

	項目名	説明	備考
1	値入力	各入力を行うエリアです。	
2	データ番号切り替えボタン	データ番号の切り替えを行います。	
3	データ番号選択エリア	データ番号を選択します。	
4	閉じるボタン	画面を閉じます。	

## 7.6 その他設定画面

キャッシュレジスターに必要なデータの設定を行う画面です。

	名称 1	シフト	預登録	預入力強制	納税出	外税登録
1	現金	0	99999999	1	99999999	1
2	商品券	0	99999999	1	99999999	0
3	カード	0	99999999	1	99999999	0
4	掛売	0	99999999	1	99999999	0

支払種別

メニュー      ダンプ      更新      戻る

2      3      4      5

	項目名	説明	備考
1	入力グリッド	各入力を行うエリアです。	7.9 を参照
2	メニューボタン	設定項目の切り替えを行います。	
3	ダンプボタン	設定データを CSV 形式で保存します。	7.7 を参照
4	更新ボタン	入力した内容をファイルに更新します	
5	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

入力グリッド左端の数字エリアでダブルクリックをすると詳細画面が出ます。

データ表示

Page 1

名称	現金	1
ドロワー	<input checked="" type="radio"/> 開ける	2 <input type="radio"/> 開けない 0
預登録	99999999	1
預入力強制	<input type="radio"/> あり	2 <input checked="" type="radio"/> なし 1
釣銭出	99999999	1
分割登録	<input checked="" type="radio"/> 可能	2 <input type="radio"/> 不可能 0

 3 データ番号  4  3  5

	項目名	説明	備考
1	値入力	各入力を行うエリアです。	
2	選択エリア	設定したい項目を選択します。	※参照
3	データ番号切り替えボタン	データ番号の切り替えを行います。	
4	データ番号選択エリア	データ番号を選択します。	
5	閉じるボタン	画面を閉じます。	

※選択エリア右端の数値エリアは、選択により変更されます。数値入力は不可。



その他設定で入力できる内容を以下に記します。

内容の詳細は取説の「支払種別設定」から各設定ごとご参照ください。

<<支払種別>>

	文字数	最小値	最大値	備考
名称	半角 8 文字	–	–	
ドロワー	数値 1 桁	0	1	0:開ける 1:開けない
預登録	数値 8 桁	0	99999999	0 は禁止 99999999 は制限なし
預入力強制	数値 1 桁	0	1	0:あり 1:なし
釣銭出	数値 8 桁	0	99999999	0 は禁止 99999999 は制限なし
分割登録	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能

<<値引設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
値引額	数値 8 桁	0	99999999	
金額入力	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能

<<割増設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
割増率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が小数になります。 1000= 10.00
率入力	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可能
端数丸め	数値 1 桁	0	2	0:四捨五入 1:切り捨て 2:切り上げ

<<割引設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
割引率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が小数になります。 1000= 10.00
率入力	数値 1 桁	0	1	0: 可能 1: 不可能
端数丸め	数値 1 桁	0	2	0: 四捨五入 1: 切り捨て 2: 切り上げ

<<基本オプション設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
担当者機能	数値 1 桁	0	1	0:有効 1:無効
取引毎サインイン	数値 1 桁	0	1	0:有効 1:無効
ジャーナル機能	数値 1 桁	0	1	0:有効 1:無効
レシート再発行	数値 1 桁	0	1	0:可能 1:不可
両替レシート	数値 1 桁	0	1	0:発行 1:未発行
時刻表記	数値 1 桁	0	1	0:24 時間表記 1:12 時間表記
乗数登録	数値 1 桁	0	1	0:乗数-[ x ] 1:[ x ]-乗数
値引丸め	数値 1 桁	0	2	0:なし 1:5 円 2:10 円
アイドル表示	数値 1 桁	0	2	0:しない 1:1 分 2:3 分
キータッチ音	数値 1 桁	0	1	0:あり 1:なし

<<領収書設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
印紙額	数値 8 桁	0	99999999	
一連番号印字	数値 1 桁	0	1	0: する 1: しない
領収書名	数値 1 桁	0	1	0: 領収書 1: 領収証
印刷方向	数値 1 桁	0	1	0: 縦 1: 横
控え印刷	数値 1 桁	0	1	0: 選択 1: しない

<<レポート設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
日計〇合計	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
部門〇合計	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
P L U O 合計	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
一連番号初期化	数値 1 桁	0	1	0: 有効 1: 無効
領収番号初期化	数値 1 桁	0	1	0: 有効 1: 無効
開始時刻	数値 2 桁	00	23	
日計売上	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S D のみ 2: 印字 & S D
部門別	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S D のみ 2: 印字 & S D
P L U 別	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S D のみ 2: 印字 & S D

時間帯別	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S Dのみ 2: 印字 & S D
電子 J	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S Dのみ 2: 印字 & S D
日計期 1	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S Dのみ 2: 印字 & S D
部門期 1	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S Dのみ 2: 印字 & S D
日計期 2	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S Dのみ 2: 印字 & S D
部門期 2	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S Dのみ 2: 印字 & S D
P L U 期間	数値 1 桁	0	2	0: 印字のみ 1: S Dのみ 2: 印字 & S D

<<レシート印刷設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
ヘッダMSG	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
フッタMSG	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
店名ロゴ	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
日付	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
時刻	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
担当者名	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
一連番号	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
レジスタ番号	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
商品点数	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
税シンボル	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
税詳細	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷

<<レポート印刷設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
総合計	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
返品合計	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
訂正合計	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷
両替回数	数値 1 桁	0	1	0: 印刷 1: 非印刷

<<ヘッダメッセージ設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
ヘッダメッセージ	半角 32 桁			

<<フッタメッセージ設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
フッタメッセージ	半角 32 桁			

<<日付・時刻設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
年	数値 2 桁	00	99	PC 側での変更はできません。
月	数値 2 桁	01	12	
日	数値 2 桁	01	31	
時	数値 2 桁	00	23	
分	数値 2 桁	00	59	

<<消費税>>

	文字数	最小値	最大値	備考
端数丸め	数値 1 桁	0	2	0: 四捨五入 1: 切り捨て 2: 切り上げ
変更年	数値 2 桁	00	99	
変更月	数値 2 桁	01	12	
変更日	数値 2 桁	01	31	

<<税率設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
税率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が小数になります。 1000= 10.00
変更後税率	数値 4 桁	0	9999	上 2 桁が整数 下 2 桁が小数になります。 1000= 10.00

<<レジスター番号設定>>

	文字数	最小値	最大値	備考
レジスター番号	数値 4 桁	0	9999	



## 7.7 [ダンプ]ボタンについて

[ダンプ]ボタンについては現在入力グリッド上に表示しているデータを別ファイルに保存する事が出来ます。

[ダンプ]ボタンにより作成された別ファイルの詳細は以下となります。

- ファイル形式：CSV
- 文字コード：UNICODE
- セルの区切り：カンマ区切り

[ダンプ]ボタンにより作成した別ファイルはメモ帳やエクセルファイルなどで確認ができます。

その他設定ではダンプ処理しかありませんので別ファイルとして保存するだけです。

(別ファイルのデータを編集して PC-T00L に反映することはできません)

## 7.8 [取り込み]ボタンについて

[取り込み]ボタンについては部門、PLU、担当者設定時に使用可能です。別ファイルの設定データを PC-T00L に取り込むことができます。

### 7.8.1 取り込み処理に必要なファイルの形式について

[取り込み]ボタンにより PC-T00L に設定を反映させることができる設定ファイルの詳細は以下となります。

- ファイル形式：CSV
- 文字コード：UNICODE
- セルの区切り：カンマ区切り
- データの作成方法：設定のデータ内容と同じです。

このマニュアルの各設定データを参照し、ファイルを作成して下さい。

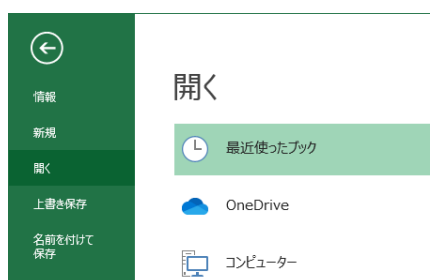
PLUデータ例：04903333025367, 新商品, 10000, 1

## 7.8.2 [ダンプ]ボタンで作成したファイルをエクセルを使用してメンテナンスして取り込みを行う場合の注意点

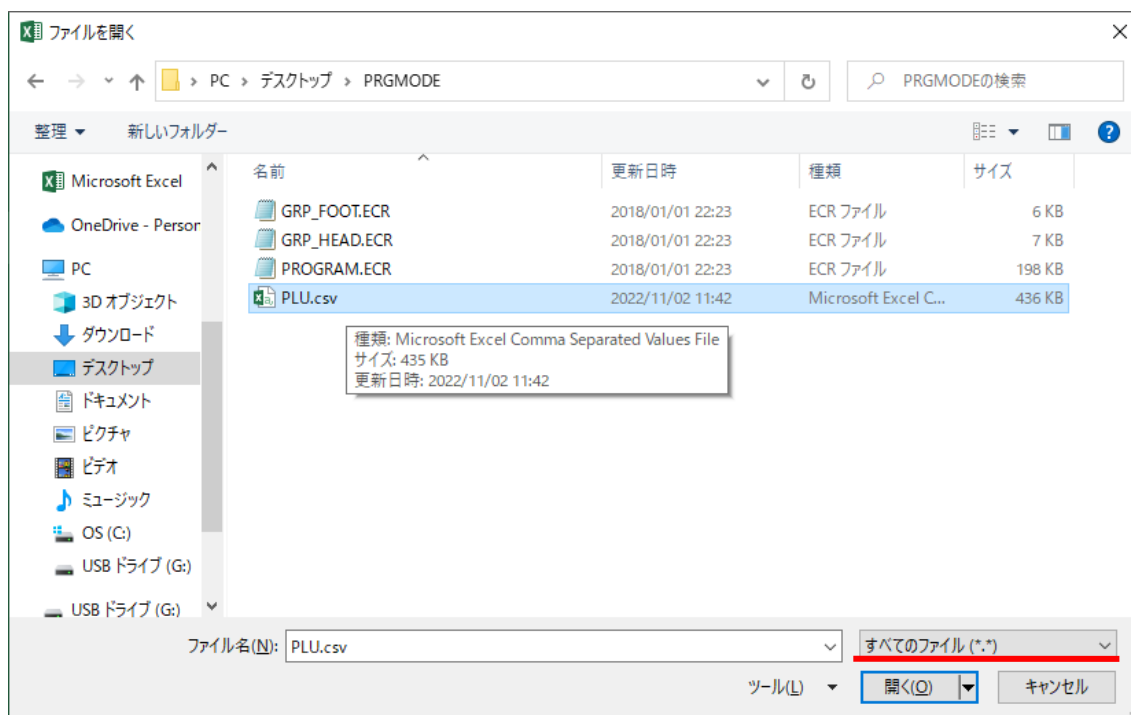
[ダンプ]ボタンで作成したファイルをエクセルを使用してメンテナンスして取り込みを行う場合に注意点があります。

### ①ファイルを開くときの注意点

エクセルを開いた状態で[開く]ボタンをクリックします。



下記の通りファイルの種類を[すべてのファイル(\*.\*)]を指定したあと指定ファイル([ダンプ]ボタンで作成したファイル(PLU))を指定し[開く]を押します。



## ②ファイル形式の指定

下記画面が出ますので元のファイルを

[65001:Unicode (UTF-8)]に指定して[次へ]ボタンを押して下さい。

テキストファイル ウィザード - 1 / 3

選択したデータは区切り文字で区切られています。  
[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式

データのファイル形式を選択してください：

☒ カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)  
☐ スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(W)

取り込み開始行(R): 1 元のファイル(Q): 65001 : Unicode (UTF-8)

☐ 先頭行をデータの見出しとして使用する(M)

ファイル C:\Users\%kai\Desktop\PRGMODE\PLU.csv のプレビュー

1	0000000000000001,PLU#0000000000000002,222,2
2	0000000000000002,PLU#0000000000000001,111,1
3	0000000000000003,PLU#0000000000000003,333,3
4	0000000000000004,PLU#0000000000000004,444,4
5	0000000000000005,PLU#0000000000000005,555,5

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

次に下記画面が出ますので区切り文字を

[カンマ]に指定して[次へ]ボタンを押して下さい。

テキストファイル ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

☒ タブ(I)  
☐ セミコロン(M)  
☒ カンマ(C)  
☐ スペース(S)  
☐ その他(Q):

☐ 連続した区切り文字は 1 文字として扱う(R)

文字列の引用符(Q): "

次に下記画面が出ますので列のデータ形式を  
[文字列]に指定して[完了]ボタンを押して下さい。  
以上でファイルのオープンは終了です。

テキストファイル ウィザード - 3 / 3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

☐ G/標準(G)

☒ 文字列(I)

☐ 日付(D): YMD

☐ 削除する(I)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

詳細(A)...

データのプレビュー(P)

文字列	G/標準	G/標準	G/標準
0000000000000001	PLU#0000000000000002	222	2
0000000000000002	PLU#0000000000000001	111	1
0000000000000003	PLU#0000000000000003	333	3
0000000000000004	PLU#0000000000000004	444	4
0000000000000005	PLU#0000000000000005	555	5

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

③ファイルのメンテナンス方法および保存方法については  
次の項でご説明します。

### 7.8.3 エクセルで CSV を作成する場合の注意点

エクセルを使用して CSV ファイルを作成するときに注意点があります。

#### ① 保存形式

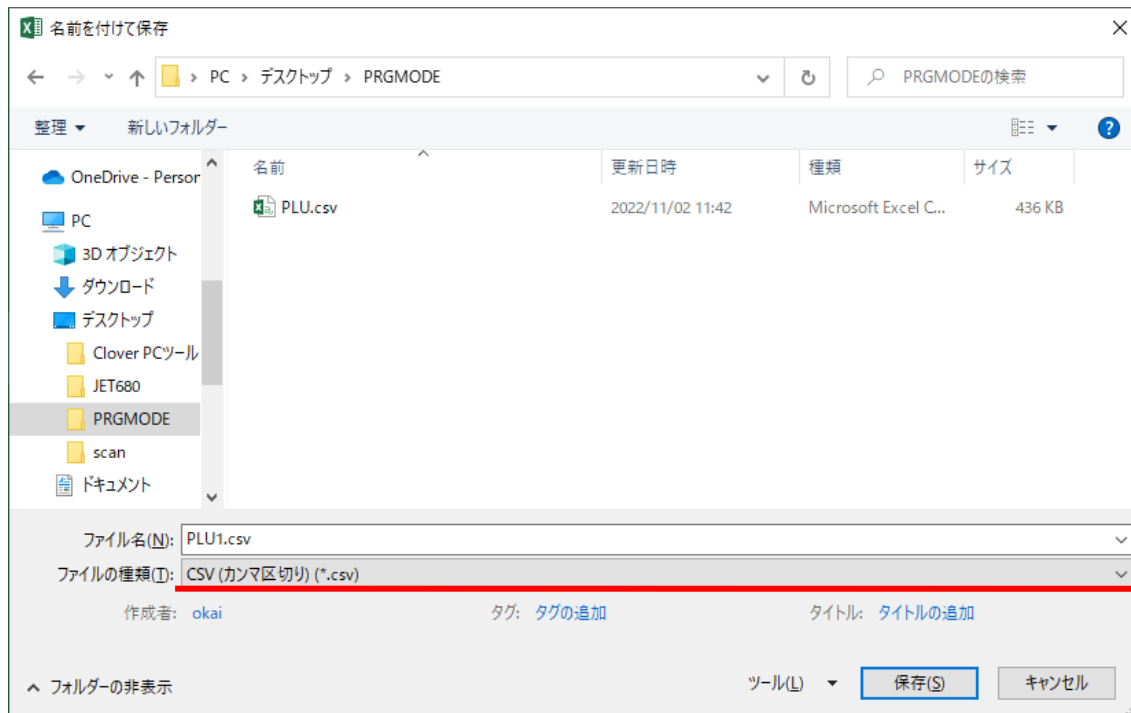
ファイルを作成した後、ファイル形式を指定して保存する必要があります。



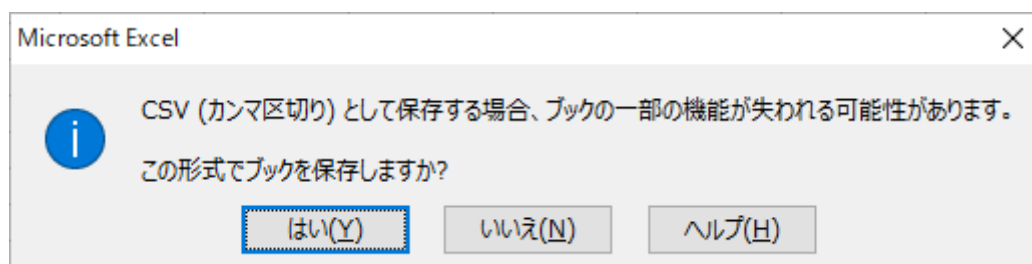
上記のようにデータをセル毎に入力した後データを保存します。

[名前を付けて保存]をクリックすると下記画面が出ます。

下記の通りファイルの種類を[C S V (カンマ区切り) (\*.csv)]を指定します。



下記ダイアログが出ますが、ここでは[はい]をクリックして下さい



## ②文字コード変換

①で作成した CSV ファイルは、文字コードが SHIFT-JIS になっています。  
PC-T00L へ取り込む際には文字コードを UNICODE に変換する必要があります。  
変換ツールはフリーソフトが利用できます。  
参考情報⇒下記 Vector ホームページを参照下さい  
<http://www.vector.co.jp/vpack/filearea/win/util/text/conv/code/>

## ③CSV ファイルの取り込み仕様

CSV ファイルの取り込みの仕様について述べます。  
取り込みを行った場合、仕様は下記となります。

- 設定画面の上位からデータを上書きしていく
- CSV データが最大設定数に満たない場合は  
残りの設定データをゼロ(データなし)として取り込む

以上の仕様となります。

## 7.9 入力グリッドについて

入力グリッドについての詳細を、下記に記載します。

### 7.9.1 HELP 表示

各入力グリッドをクリックすると、画面左下に設定範囲が表示されます。

The screenshot shows the JET 680W software window. The title bar reads "02 JET-680W - C:\Users\okai\Desktop\JET680". The main area contains a table with columns: 名 (Name), 設定単価 (Set Unit Price), 売価の正負 (Positive/Negative Selling Price), 一般/単品 (General/Single Item), 単価扱い (Unit Price Handling), 税種 (Tax Type), 税属性 (Tax Attribute), 円登録 (Yen Registration), and 入力限度 (Input Limit). The table lists items 1 through 16, including fruits, vegetables, stationery, and various departments. The first row, "1 果物", is highlighted. To the right of the table is a large grey area with a "最小化" (Minimize) button. Below the table are buttons for "メニュー" (Menu), "ダンプ" (Dump), "取り込み" (Load), "更新" (Update), and "戻る" (Back). At the bottom left, a red box highlights the text "(Range is 0 - 9999999)".

名	設定単価	売価の正負	一般/単品	単価扱い	税種	税属性	円登録	入力限度
1 果物	0	0	0	0	0	0	0	9999999
2 野菜	0	0	0	0	0	1	0	9999999
3 文房具	0	0	0	0	1	0	0	9999999
4 部門#04	0	0	0	0	1	1	0	9999999
5 部門#05	0	0	0	0	0	2	0	9999999
6 部門#06	0	0	0	0	0	0	0	9999999
7 部門#07	0	0	0	0	0	0	0	9999999
8 部門#08	0	0	0	0	0	0	0	9999999
9 部門#09	0	0	0	0	0	0	0	9999999
10 部門#10	0	0	0	0	0	0	0	9999999
11 部門#11	0	0	0	0	0	0	0	9999999
12 部門#12	0	0	0	0	0	0	0	9999999
13 部門#13	0	0	0	0	0	0	0	9999999
14 部門#14	0	0	0	0	0	0	0	9999999
15 部門#15	0	0	0	0	0	0	0	9999999
16 部門#16	0	0	0	0	0	0	0	9999999

部門

メニュー ダンプ 取り込み 更新 戻る

(Range is 0 - 9999999)

## 7.9.2 選択範囲一括入力

入力グリッドをクリックし、[Shift]キー+[矢印]キーにて、範囲指定をします。

02 JET-680W - C:\Users\okai\Desktop\JET680

	品名	設定単価	売値の正負	品	単価扱い	税種	税属性	円登録	入力限度
1	果物	0	0	0	0	0	0	0	9999999
2	野菜	0	0	0	0	0	1	0	9999999
3	文房具	0	0	0	0	1	0	0	9999999
4	部門#04	0	0	0	0	1	1	0	9999999
5	部門#05	0	0	0	0	0	2	0	9999999
6	部門#06	0	0	0	0	0	0	0	9999999
7	部門#07	0	0	0	0	0	0	0	9999999
8	部門#08	0	0	0	0	0	0	0	9999999
9	部門#09	0	0	0	0	0	0	0	9999999
10	部門#10	0	0	0	0	0	0	0	9999999
11	部門#11	0	0	0	0	0	0	0	9999999
12	部門#12	0	0	0	0	0	0	0	9999999
13	部門#13	0	0	0	0	0	0	0	9999999
14	部門#14	0	0	0	0	0	0	0	9999999
15	部門#15	0	0	0	0	0	0	0	9999999
16	部門#16	0	0	0	0	0	0	0	9999999

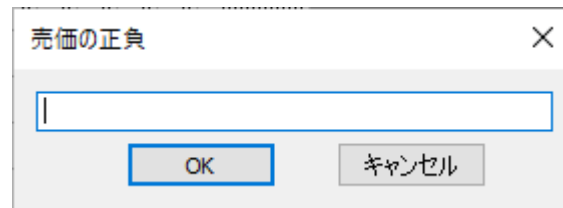
部門

メニュー    ダンプ    取り込み    更新    戻る

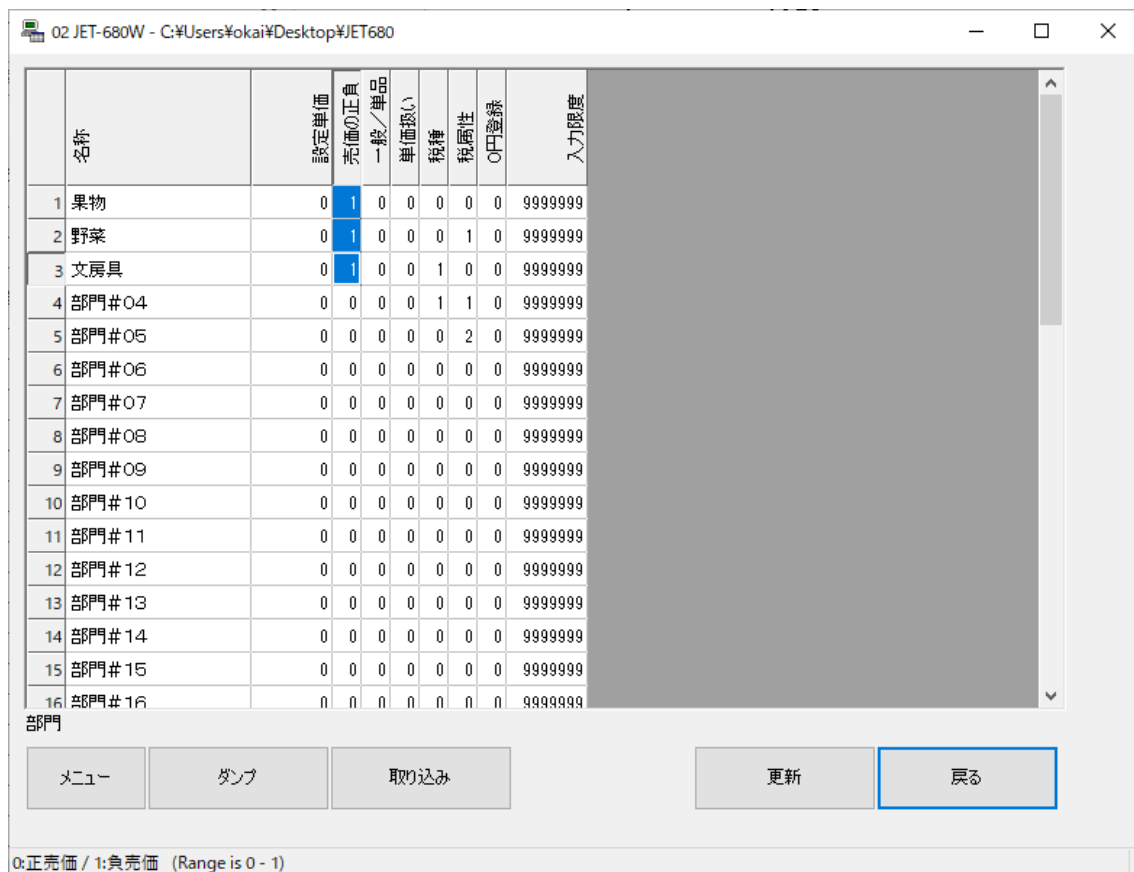
0:正売値 / 1:負売値 (Range is 0 - 1)



右クリックをすると、入力ウィンドーが開きます。



設定内容を入力し、[OK]ボタンを押下すると、一括入力が完了します。



	名	設定単価	売価の正負	一般/単品	単価扱い	税種	税属性	円登録	入力限度
1	果物	0	1	0	0	0	0	0	9999999
2	野菜	0	1	0	0	0	1	0	9999999
3	文房具	0	1	0	0	1	0	0	9999999
4	部門#04	0	0	0	0	1	1	0	9999999
5	部門#05	0	0	0	0	0	2	0	9999999
6	部門#06	0	0	0	0	0	0	0	9999999
7	部門#07	0	0	0	0	0	0	0	9999999
8	部門#08	0	0	0	0	0	0	0	9999999
9	部門#09	0	0	0	0	0	0	0	9999999
10	部門#10	0	0	0	0	0	0	0	9999999
11	部門#11	0	0	0	0	0	0	0	9999999
12	部門#12	0	0	0	0	0	0	0	9999999
13	部門#13	0	0	0	0	0	0	0	9999999
14	部門#14	0	0	0	0	0	0	0	9999999
15	部門#15	0	0	0	0	0	0	0	9999999
16	部門#16	0	0	0	0	0	0	0	9999999

部門

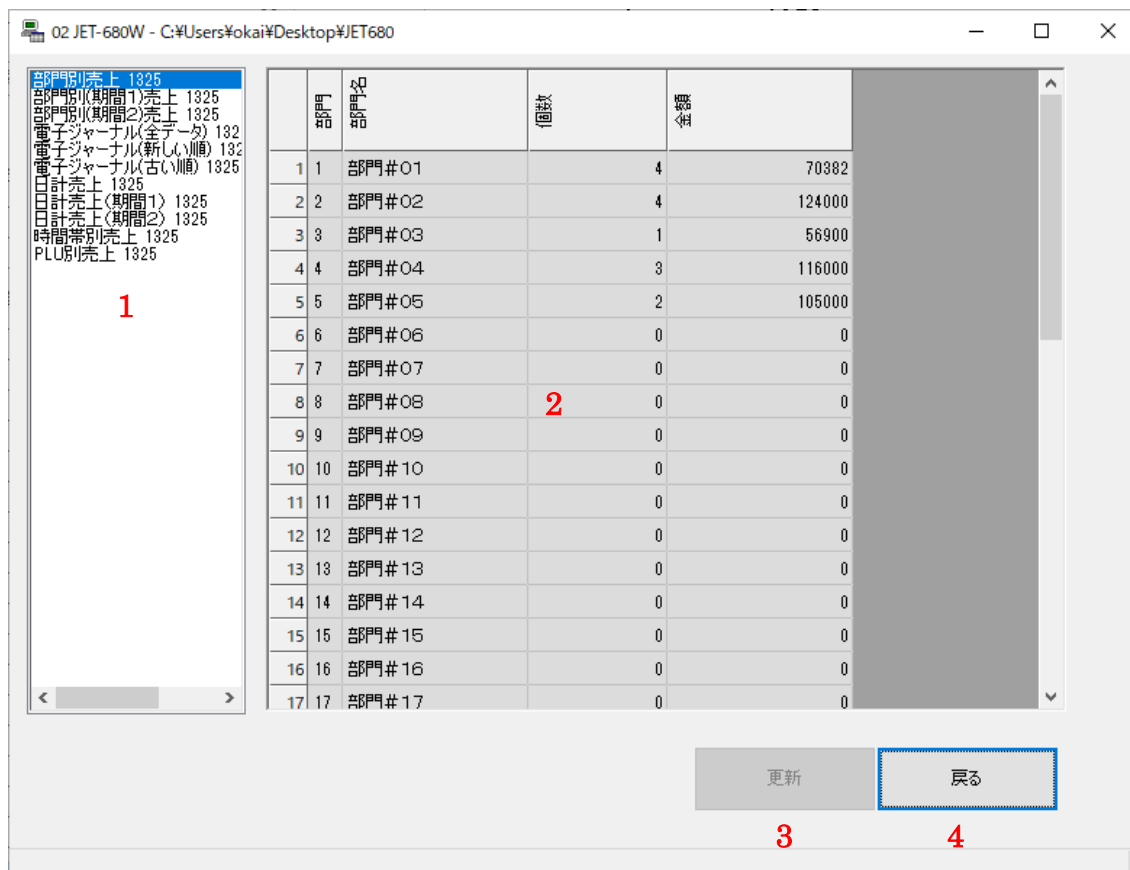
メニュー    ダンプ    取り込み    更新    戻る

0:正売価 / 1:負売価 (Range is 0 - 1)

※複数列選択、または単一行選択のみの場合は機能しません。

## 7.10 レポートプレビュー画面

レポートデータの閲覧画面です。



	項目名	説明	備考
1	選択リスト	基本フォルダ内のレポートを一覧で表示します。閲覧したいレポートを選択すると表示グリッドに内容が表示されます。	
2	表示グリッド	選択されたレポートの内容を表示するエリアです。	
3	更新ボタン	レポート閲覧は更新できませんのでこのボタンは押下できません。	
4	戻るボタン	選択画面に戻ります。	

※選択リストに表示されるのは“**基本フォルダ**”内に格納されているもののみです。

画面上の内容とファイルの関連付けは「表 1 ボタンと対象ファイル一覧」を参照

※CSV の XLS ダイレクト機能

選択リストからレポートをダブルクリックすると、対象の CSV ファイルから Excel ファイル(.xls)を作成し、画面に表示します。

※PC に Excel がインストールされている必要があります。

サポート対象は次の通りです。 Excel 2000, 2002, 2003, 2007, 2010, 2013

<エクセル>

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	1	部門# 01	2	20000				
2	2	部門# 02	2	40000				
3	3	部門# 03	0	0				
4	4	部門# 04	0	0				
5	5	部門# 05	0	0				
6	6	部門# 06	0	0				
7	7	部門# 07	0	0				
8	8	部門# 08	0	0				
9	9	部門# 09	0	0				
10	10	部門# 10	0	0				
11	11	部門# 11	0	0				
12	12	部門# 12	0	0				
13	13	部門# 13	0	0				
14	14	部門# 14	0	0				
15	15	部門# 15	0	0				
16	16	部門# 16	0	0				

## ※グラフ

選択リストのレポートをダブルクリックすると、対象の CSV ファイルからグラフを作成します。作成可能なグラフは以下 3 種類です。

### 1) 日計

対象レポート：

日計売上

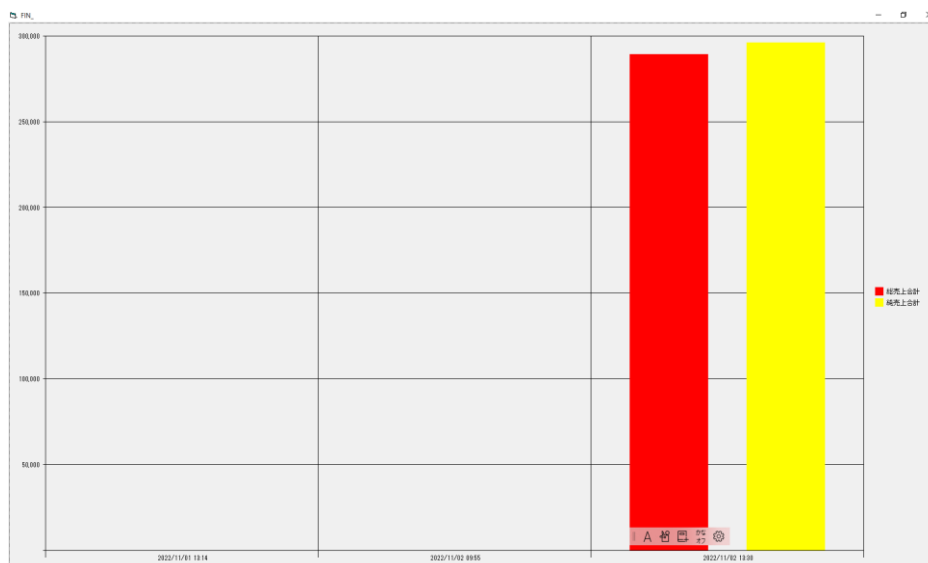
日計売上（期間 1）

日計売上（期間 2）

選択されたレポートが格納されているフォルダおよび同階層 20YYMMDD フォルダから同レポートを検索し、棒グラフ（純売上と総売上）を作成します。

表示日時は CSV ファイルのタイムスタンプです。

## <グラフ>



登録データがあれば表示されます。

## 2) 部門

対象レポート：

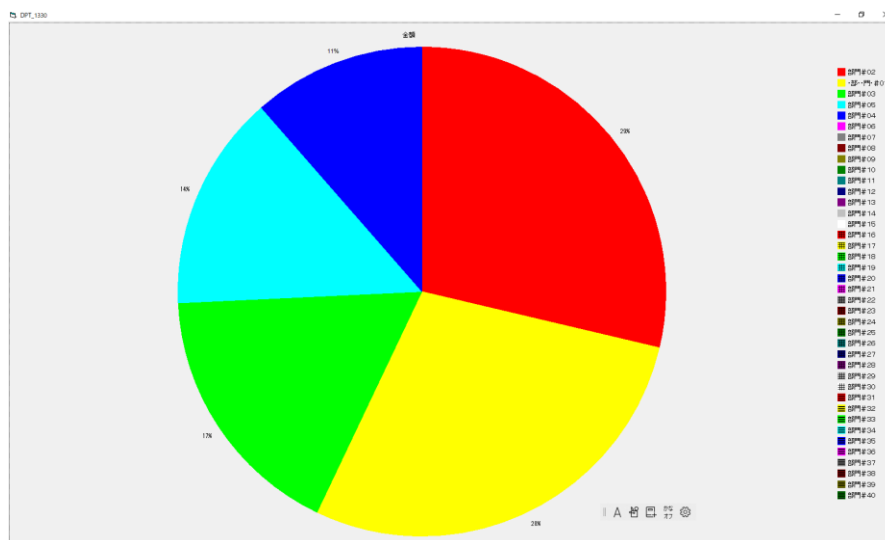
部門別売上

部門別（期間1）売上

部門別（期間2）売上

円グラフ(%比率)を作成します。

### <グラフ>



登録データがあれば  
表示されます。

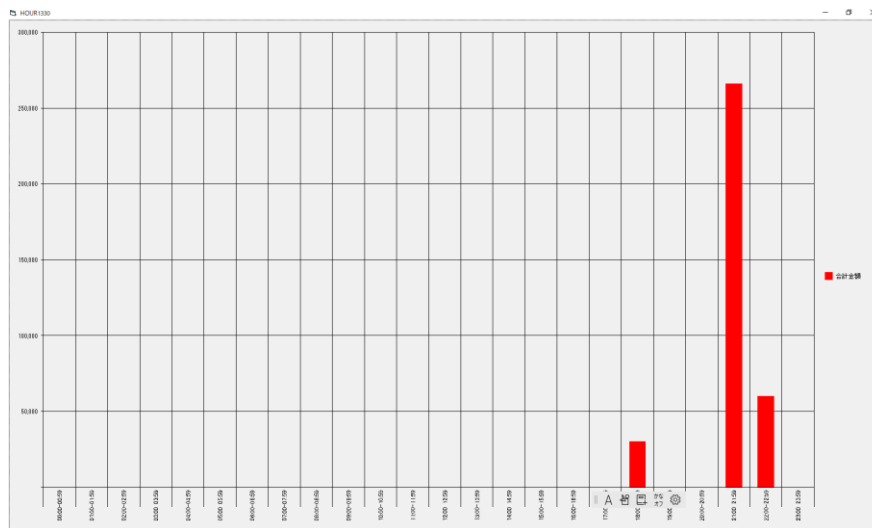
### 3) 時間帯

対象レポート：

時間帯別売上

棒グラフ(合計金額)を作成します。

#### <グラフ>

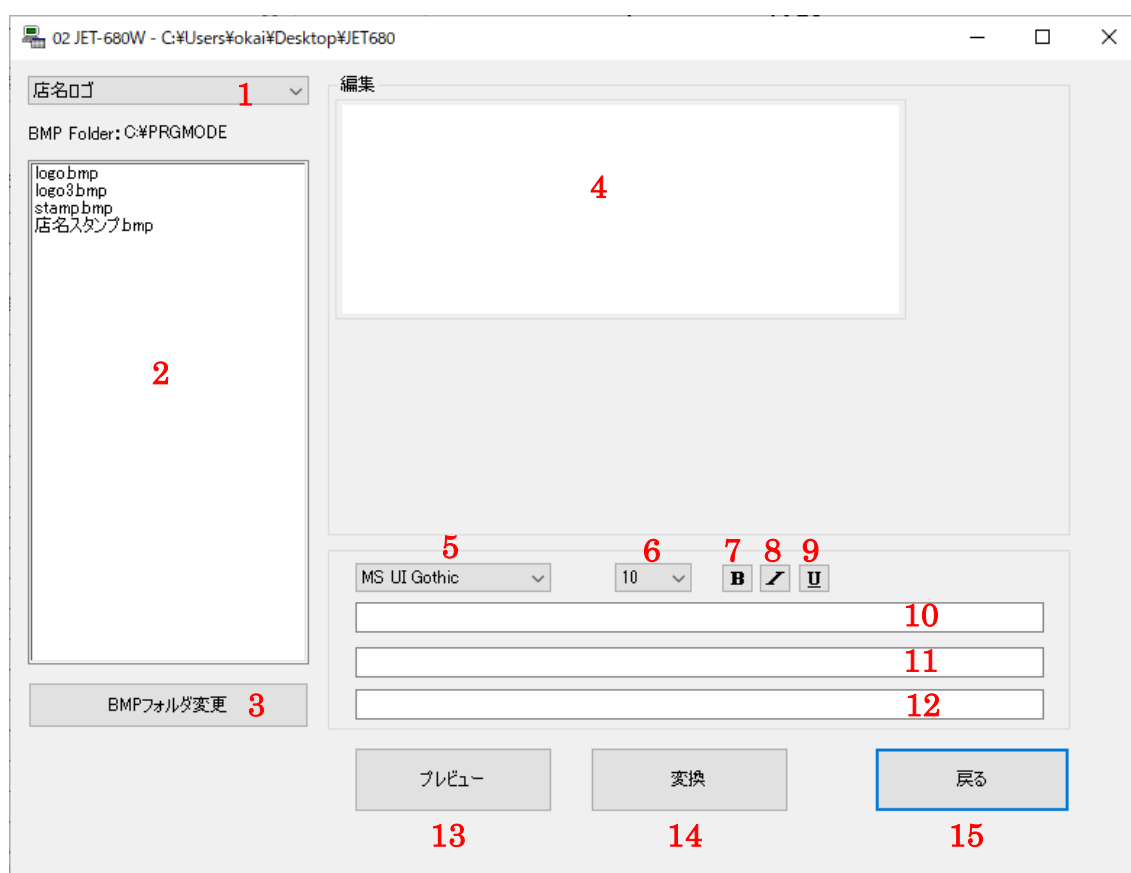


登録データがあれば  
表示されます。

## 7.11 ロゴ画面

SD カードを使用しキャッシュレジスターに店名ロゴなどを作成し設定する場合  
6.2 で説明したデータのメンテナンスと同じように「フォルダ選択」ボタンより  
SD カードの「PRGMODE」を選択し、次ロゴ作成の手順に入ってください。

店名ロゴ、スタンプのグラフィックデータを編集、変換する画面です。



	項目名	説明	備考
1	選択リスト	店名ロゴ、店名スタンプのどちらかを選択します。 選択した方を対象に編集、変換プレビューを行うことになります。	
2	BMP 選択リスト	ビットマップファイルが一覧で表示されます。選択すると 4 の編集エリアに内容が表示されます。	
3	BMP フォルダ変更ボタン	押下すると、取り込みたい BMP ファイルのあるフォルダを選択できます。 <b>注意：スペースありのフォルダを選択できます。</b>	※基本フォルダは変更されません あくまで BMP の参照フォルダの選択です。
4	編集エリア	グラフィックデータの編集領域です	
5	フォント選択リスト	入力文字のフォントを選択できます	
6	フォントサイズリスト	入力文字のフォントサイズを選択できます	※フォントによってはサイズを変更しても変化がないものもあります
7	ボールドボタン	押下すると入力文字は太文字になります。	
8	斜体ボタン	押下すると入力文字は斜体になります。	
9	下線ボタン	押下すると入力文字に下線が引かれます。	
10	入力フィールド 1	入力文字フィールドです。	
11	入力フィールド 2	入力文字フィールドです。	
12	入力フィールド 3	入力文字フィールドです。	
13	プレビューボタン	押下すると転送イメージデータを閲覧することができます。	
14	変換ボタン	押下すると 4. 編集エリアのグラフィックデータをキャッシュレジスタへ転送するイメージデータに変換します。	
15	戻るボタン	選択画面に戻ります。	



変換して作成される転送イメージデータのファイル名は BMP 選択リストで選択した BMP ファイル名に依存します。

店名ロゴ : BMP 選択リストの選択 BMP 名\_J6H. ECR

店名スタンプ : BMP 選択リストの選択 BMP 名\_J6F. ECR

Ex) LOGO. bmp を店名ロゴとして変換すると LOGO\_J6H. ECR になります。

(※BMP を選択せず変換すると BLANK\_J6H(\_J6F). ECR というファイル名で変換します)

グラフィックの作成手順を次のページに記述します。

## 7.12 グラフィックデータの作成

グラフィックデータは、予めビットマップを用意する必要があります。

まずは、Windows アクセサリのペイント等でビットマップを作成して下さい。

(今回はペイントを使ってビットマップを作成してみます。)

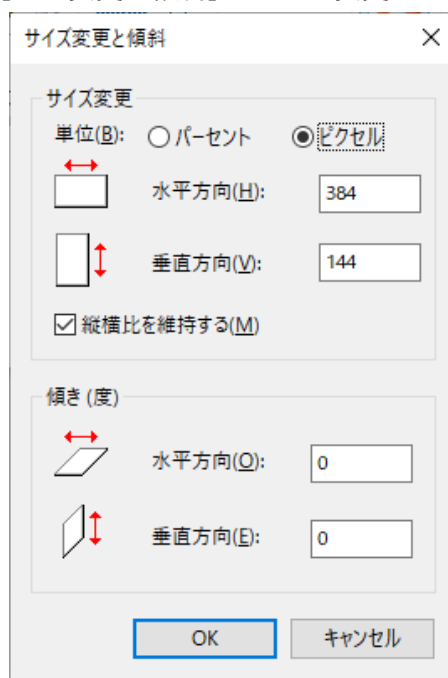
1.

店名ロゴ:縦 144 横 384 ピクセル

店名スタンプ:縦 120 横 384 ピクセル

とビットマップのサイズが決まっています。

ペイントの[イメージ]→[サイズ変更と傾斜]でサイズ変更します。

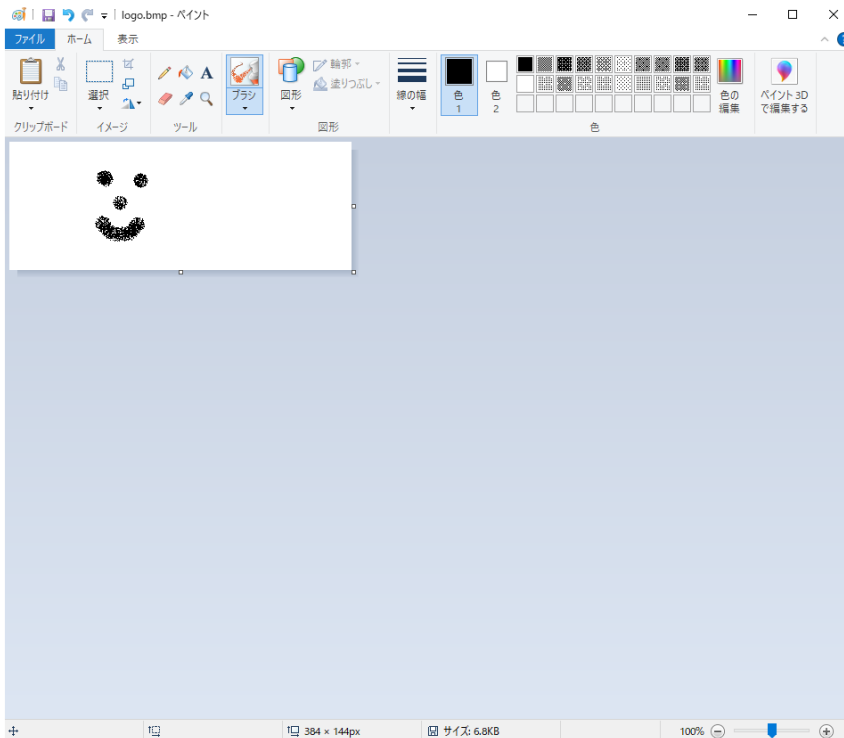


今回は店名ロゴを作成しようと思いますので

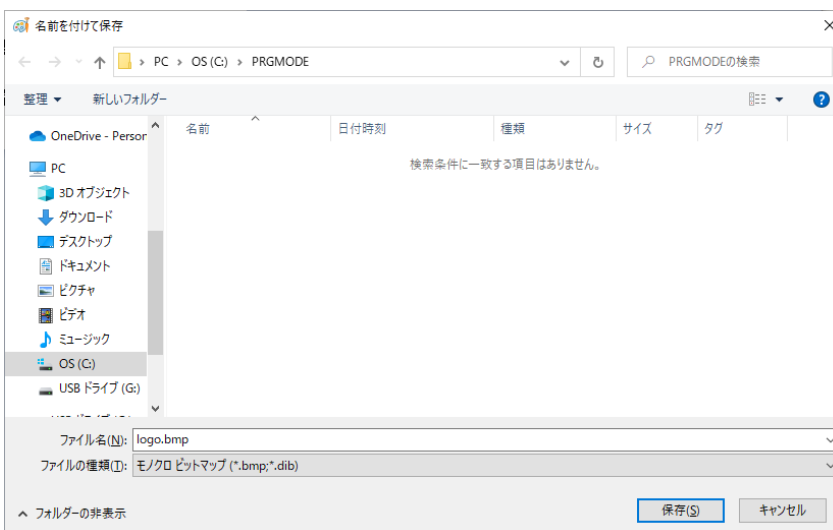
サイズは[幅]を 384、[高さ]を 144 にして[単位]をピクセルにします。

また、色を”白黒”にしておくことをお勧めします。

(カラーのビットマップも PcTool で取り込めますが、キャッシュレジスターのグラフィックデータへ変換する際に白黒に変更されますので、色の部分が黒く塗り潰される可能性があります。)



作成したビットマップをファイルに保存します。



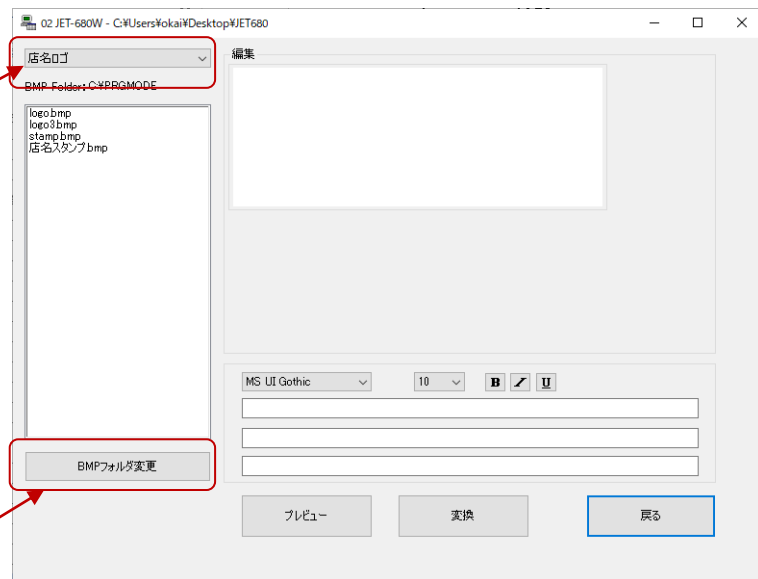
今回は logo.bmp というファイル名で c:\PRGMODE に保存します。

[ファイルの種類(T)]がモノクロビットマップになっていない場合はモノクロビットマップで保存して下さい。

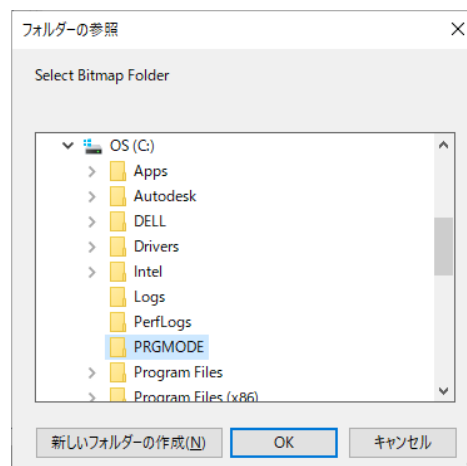
(前述したようにカラーはグラフィックデータ変換時に色が潰れる可能性があります。)

PCTool を立ち上げて[ロゴ]ボタンからロゴ画面を表示します。

初めに  
[店名ロゴ]か  
[店名スタンプ]  
どちらを作成するか  
決めます。  
(今回は店名ロゴを  
作成します)

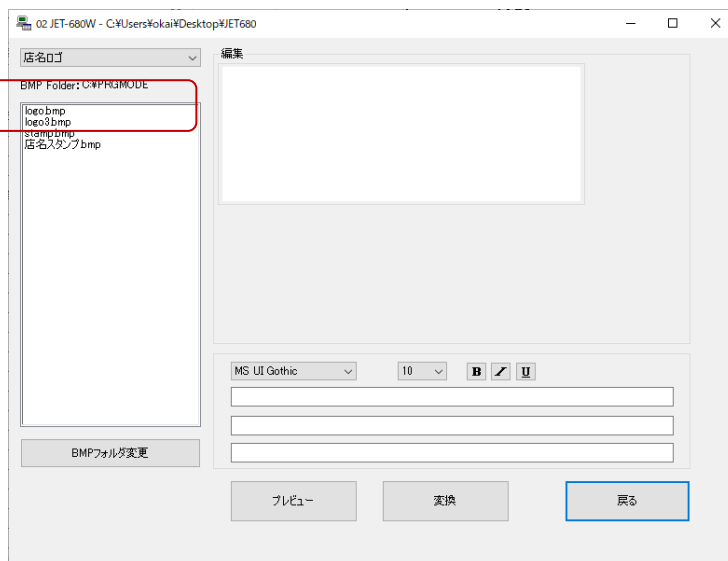


次に BMP フォルダの  
変更を押して  
挿絵とする BMP が保存されているフォルダに変更します。

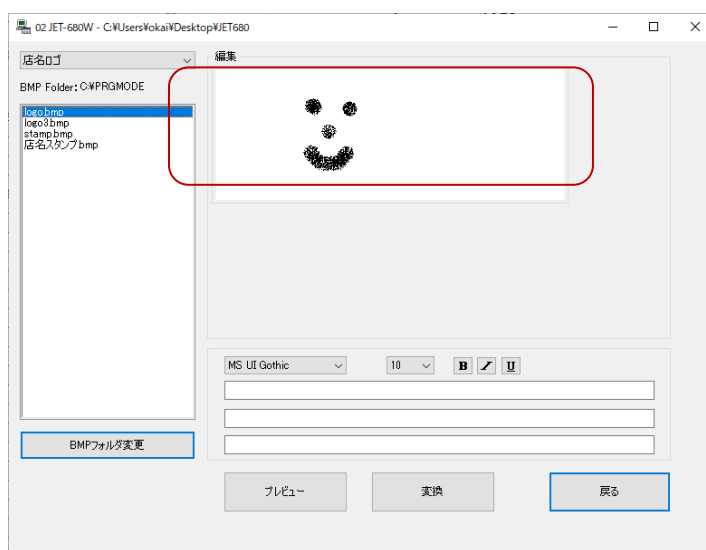


今回は C:¥PRGMode に保存しましたので C:¥PRGMode を選択し OK を押します。

作成した logo.bmp が  
BMP 選択リストに  
表示されます。

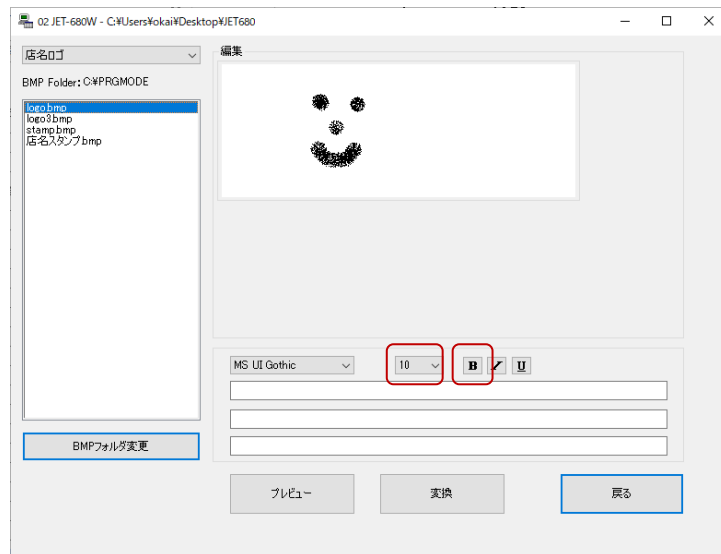


Logo.bmp を選択すると、  
編集エリアに内容が表示  
されます。  
※今回はサイズを調整して  
ビットマップを作成しまし  
たが、大きなビットマップの  
場合は、はみ出した部分はカ  
ットされます。

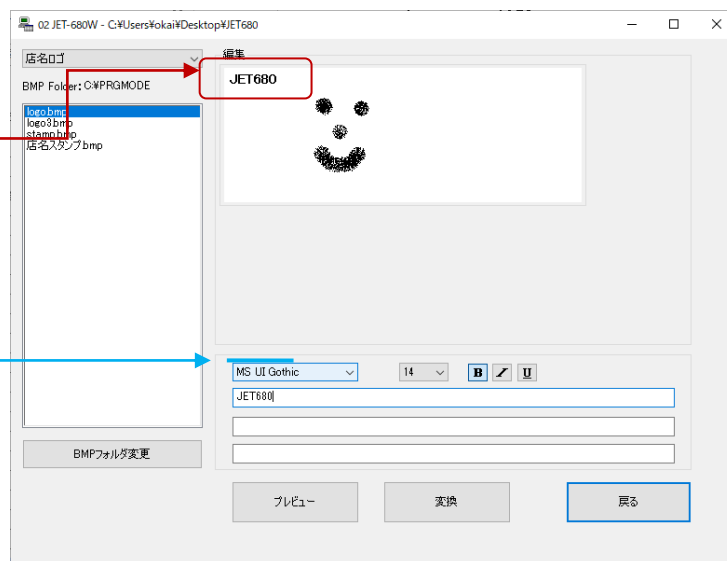


画像の中に JET680 という文字も 14 ピッチボードで入力してみます。

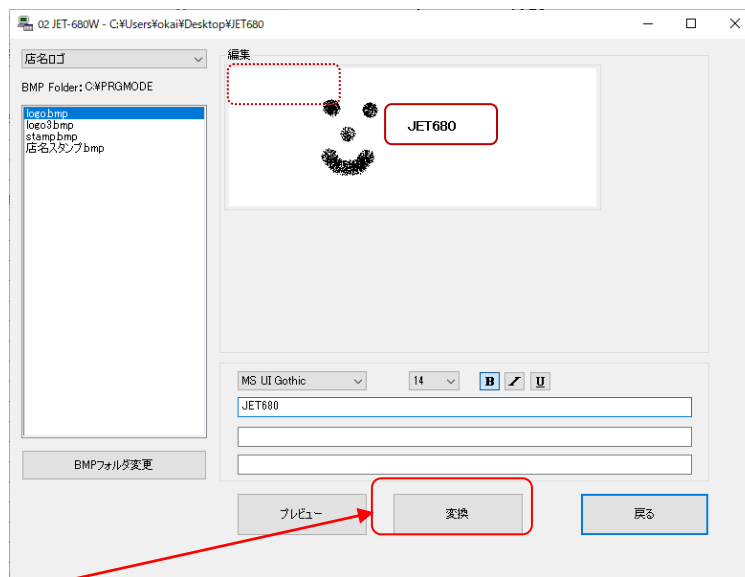
まずフォントサイズリストから 14 を選択し、ボールドボタンを押します。



次に入力フィールド 1 に JET680 と入力すると、編集エリアにサイズ 14 の Bold(太字) で JET680 と表示されます。  
(入力フィールド 2, 入力フィールド 3 でも結構です。最大 3 つの文字列を入れることができます。)



編集エリアに表示された  
JET680 の上にマウスポインタ  
を持っていくと+に変わります。  
その状態でマウス左ボタン押しっぱなし（ドラッグ）にして  
好きなところに移動します。



これで作成する画像が  
できましたので変換ボタンを押下し転送イメージを作成します。

変換が開始されプレビュー  
が自動的に表示されます。  
※変換に失敗すると  
エラーが表示されます。  
（エラーに関しては [表 2  
変換時のエラー一覧] を参照  
して下さい）

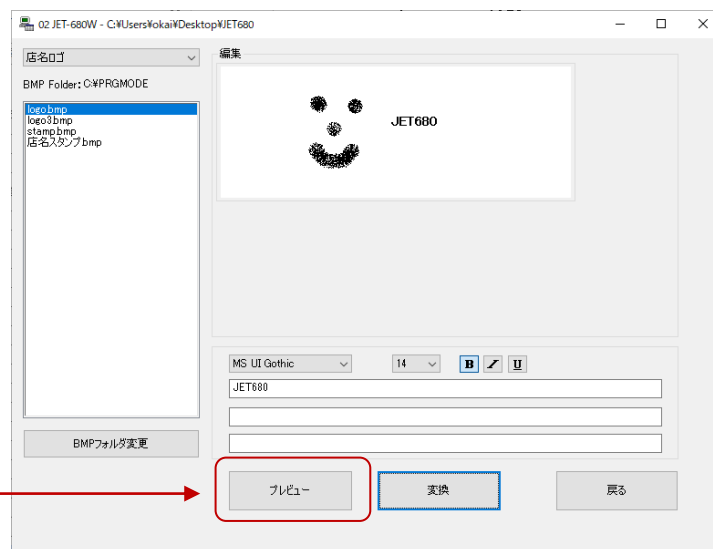


[このグラフィックを登録する]ボタンを押下し転送イメージとして確定します。  
その後、[閉じる]ボタンを押下し<ロゴ>画面に戻ります。



これを押さなければ  
転送イメージとしては  
確定されません。

ボタンを押さずに戻った場合でも、転送イメージは削除されることはありませんので、  
[プレビュー]ボタンを押下して転送イメージをプレビューしなおすことができます。





＜ロゴ＞画面の[戻る]ボタンを押して＜選択＞画面に戻ります。

●SDカードをご利用の場合  
このままSDカードをPCより抜く操作を行います。

SDカードをキャッシュレジスターに接続し、SDカードから読込(店名ロゴ)を実行してください。

キャッシュレジスターによってヘッダーロゴを印字する／しないの設定が必要になります。

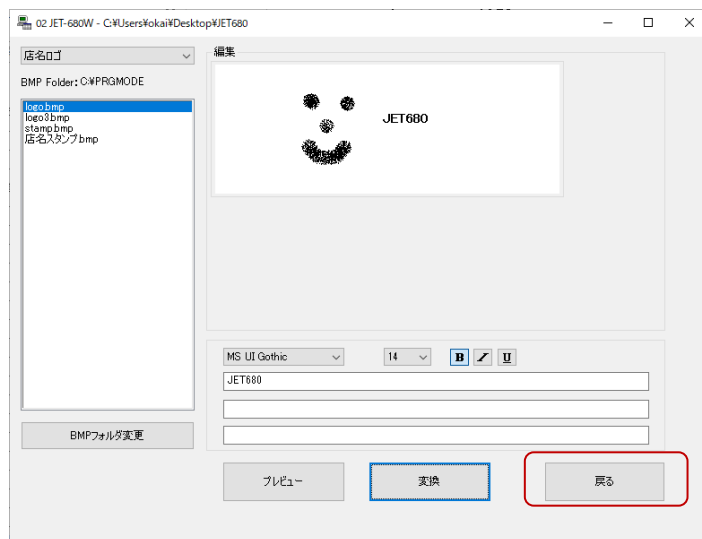
詳細はキャッシュレジスター取扱説をご参照ください。

●通信機器をご利用の場合  
SDカードをご利用の場合は以下は不要です。

[データ送信]ボタンを押し、先ほどのイメージをキャッシュレジスターに転送します。

店名ロゴにチェックを入れ  
[送信開始]ボタンを押します。

正常に送信が完了した後、  
キャッシュレジスターでレシートを印字しヘッダーロゴが変わっていることを確認します。



以上でグラフィックデータの作成は完了です。

## 変換時のエラー

表 2 変換時のエラー一覧

Code	内容
08010000H	変換元ファイルのオープンに失敗
08020000H	変換元ファイルの読み込みに失敗
08030000H	変換先ファイルの作成に失敗
08040000H	変換先ファイルの書き込みに失敗
F0010000H	変換アプリを使用中

08010000H～08020000Hが表示された場合、選択した BMP フォルダのハードディスクドライブの未使用領域がほとんどなくなっている状態でないか確認して下さい。

F0010000Hが表示された場合、本ソフトを複数立ち上げ、同時に変換を行っている可能性があります。